

魚津市における小中学校教育のあり方について（情報共有）

1. 市内小中学校現状

・教育環境の充実を図るため、平成 26 年 3 月に策定した魚津市学校規模適正化推進計画に基づき、当時 12 校あった小学校を 5 校へ統合。このほか、現在、市内に中学校 2 校有。このうち、東部地区の経田小学校及び清流小学校、東部中学校が、老朽化（別紙資料⑦）。

○魚津市学校規模適正化推進計画枠組み

新小学校名	旧小学校名	統合年度	校舎
清流小学校	片貝小、吉島小、西布施小	平成 28 年度	旧吉島小学校校舎を利用
よつば小学校	大町小、村木小、上野方小、本江小	平成 30 年度	旧本江小学校校舎を新設
星の杜小学校	住吉小、上中島小、松倉小	平成 31 年度	旧住吉小学校校舎を新設
（統合未済）	道下小、経田小	—	現道下小学校校舎を利用

・令和 5 年 2 月に統廃合が未済の小学校も含め、今後の取組に活かすため、魚津市学校規模適正化推進計画の検証作業を実施。検証の総括の概要は以下のとおり。

①令和 5 年度を目標年度として、統合することとしていた道下小学校と経田小学校については、引き続き対象地域の児童数に注視し、関係者との調整に努め、統合を目指すことが重要。

②通学区域については、場合によっては通学区域の変更や更なる弾力化を検討することが必要。

③現計画は児童数に着目し、最適な学びの確保や効率的な学校運営を目指して策定されたが、少子化の進展により、社会における学校教育に対する考え方が変化してきていることから、「魚津市における学校教育のあり方」についての検討が必要。

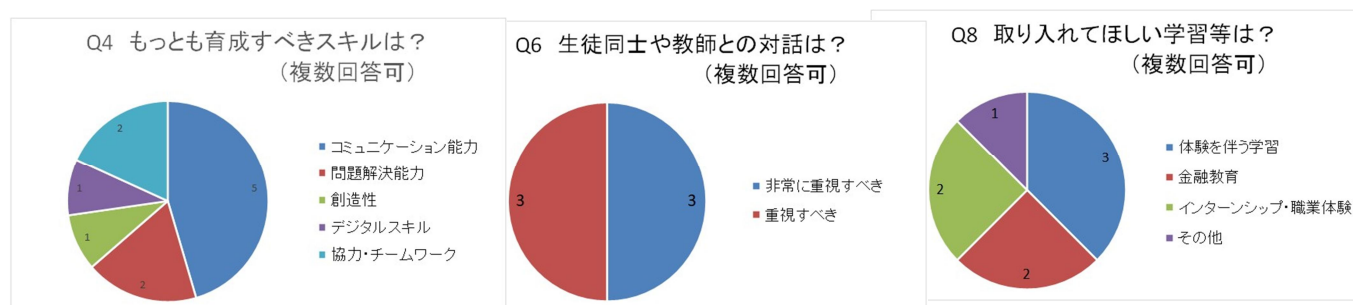
・令和 5 年度に第 3 期魚津市教育振興基本計画策定の参考にするため、これからの理想の教育環境について、第 1 回は高校生、大学生及び新卒社会を、第 2 回は市内小中学生の保護者を、第 3 回は市内企業の採用担当者を対象に「教育のあり方意見交換会」を開催。主な意見は以下のとおり。

第 1 回：学級編成基準（現在は小学校：35 人、中学校 40 人学級）よりも少ない 20 人台ほどの学級編成を要望。こどもの意見も取り入れた行事運営。不登校対策の充実等。

第 2 回：学級編成基準よりも少ない 20 人台ほどの学級を要望。個に応じた指導等。

第 3 回：人間力を高める教育やふるさと教育の充実等。

主なアンケート結果：



・今年度、第3期魚津市教育振興基本計画（計画期間：令和8年度～令和12年度）を策定。

・また、魚津市学校施設長寿命化計画（計画期間：令和3年度～令和12年度）の中間年であり、その見直しを検討。

・令和7年5月23日に校下4地区振興会及び清流小学校後援会から「清流小学校の建替えに関する要望書」の提出有（地区住民3,762名の署名添付）。なお、要望内容は以下のとおり。

①清流小学校の建替え

②清流小学校建替え検討委員会の設置

2. 今後の取組

・今年度、第3期魚津市教育振興基本計画の策定を進める中で、まずは魚津市全体の小中学校教育のあり方を検討。⇒令和7年3月及び6月市議会定例会において、野村議員の清流小学校改築に関する質問へ答弁済。また、「清流小学校の建替えに関する要望書」について、令和7年7月4日付けで回答。